

6月20日(木)

第2会場(地下1F 小ホール)

■ 一般演題 1 エミシズマブ 1(14:40~15:40)

座長：荻原 建一(奈良県立医科大学小児科)

鈴木 伸明(名古屋大学医学部附属病院輸血部)

O-001 電子顕微鏡による Emicizumab 存在下に形成されたフィブリンクロット微細構造の質的評価

○下西 成人¹, 野上 恵嗣¹, 荻原 建一¹, 松本 智子^{1,2}, 中澤 文恵³,
新井 信夫³, 北沢 剛久⁴, 嶋 緑倫¹(¹ 奈良県立医科大学小児科学教室, ² 天理医療大学医療学部臨床検査学科, ³ シスメックス株式会社, ⁴ 中外製薬株式会社研究本部)

O-002 インヒビター非保有重症血友病 A 患者に対する Emicizumab 投与モデル血漿中での各種 FVIII 製剤存在下での包括的凝固機能についての検討

○中島 由翔¹, 野上 恵嗣¹, 矢田 弘史¹, 野口真理子², 平田 道則², 嶋 緑倫¹
(¹ 奈良県立医科大学付属病院小児科, ² 中外製薬株式会社プロダクトリサーチ部)

O-003 エミシズマブ投与下の先天性血友病 A 患者における包括的凝固機能検査を用いたバイパス製剤の止血効果予測

○古川 晶子¹, 野上 恵嗣¹, 松本 智子¹, 松本 大成², 嶋 緑倫¹
(¹ 奈良県立医科大学小児科, ² 中外製薬株式会社)

O-004 エミシズマブ導入で、リハビリ病院での治療、訪問・在宅診療に移行できた自己注射の習得できなかった軽症血友病 A インヒビターの 1 例

○松浦 康弘, 佐藤 宏, 中村 博敏
(井上記念病院内科)

■ 一般演題 2 エミシズマブ 2(15:45~16:45)

座長：徳川多津子(兵庫医科大学血液内科)

武山 雅博(奈良県立医科大学小児科)

O-005 インヒビター保有先天性血友病 A に対するエミシズマブの投与経験

○岡本 修一¹, 鈴木 伸明², 兼松 毅³, 清井 仁¹, 小嶋 哲人⁵, 松下 正⁴
(¹ 名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学, ² 名古屋大学医学部附属病院輸血部, ³ 名古屋大学医学部附属病院検査部, ⁴ 名古屋大学医学部附属病院輸血部・検査部, ⁵ 名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学)

O-006 インヒビター保有血友病患者における Emicizumab の使用経験

○長江 千愛¹, 森 美佳², 梅沢陽太郎², 須藤明希菜¹, 足利 朋子¹,
山下 敦己¹, 葛西 隆³, 瀧 正志²(¹ 聖マリアンナ医科大学小児科, ² 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科, ³ 中外製薬株式会社)

O-007 免疫寛容療法とエミシズマブを併用した3例のインヒビター陽性血友病 A

○長尾 梓¹, 片山 春奈¹, 西山 綾子², 小林 尚明³, 鈴木 隆史¹
(¹ 荻窪病院血液凝固科, ² 至誠会第二病院小児科, ³ 東京慈恵会医科大学小児科)

O-008 バイパス止血療法及び免疫寛容療法の効果が乏しく Emicizumab に切り替えたが, 同薬単剤での管理が困難であった血友病 A インヒビターの1例

○近澤 悠志¹, 宮下 竜伊¹, 上久保淑子¹, 一木 昭人¹, 備後 真登¹,
関谷 綾子¹, 横田 和久¹, 四本美保子¹, 金子 誠¹, 萩原 剛¹, 天野 景裕^{1,2},
福武 勝幸^{1,2}
(¹ 東京医科大学臨床検査医学分野, ² 東京医科大学血液凝固異常症遺伝子研究寄附講座)

第5会場(1F レセプションルーム)

■ 一般演題3 DIC1(14:40~15:40)

座長: 川杉 和夫(帝京大学医療技術学部)

朝倉 英策(金沢大学附属病院高密度無菌治療部)

O-009 肝胆膵外科領域における敗血症性 DIC に対する遺伝子組み換え型ヒト可溶性トロンボモジュリンの有効性及び安全性の検討

○野口 大介, 臼井 正信, 早崎 碧泉, 飯澤 祐介, 藤井 武宏, 加藤 宏之,
種村 彰洋, 村田 泰洋, 安積 良紀, 栗山 直久, 岸和田昌之, 水野 修吾,
櫻井 洋至, 伊佐地秀司
(三重大学肝胆膵・移植外科学)

O-010 リポポリサッカライド誘発 DIC モデルマウスにおけるアポ蛋白 M の抗血栓作用のメカニズムの検討

○蔵野 信, 西川 真子, 矢富 裕
(東京大学附属病院検査部)

O-011 凝固線溶均衡/不均衡パターンにより分類した DIC 各病型におけるトロンビン・プラスミンの動態

○大西 智子¹, 野上 恵嗣¹, 石原 卓¹, 松本 智子², 嶋 緑倫¹
(¹ 奈良県立医科大学小児科, ² 天理医療大学臨床検査学科)

O-012 血漿中 PD-1 リガンドと敗血症患者の臨床経過や臓器障害との相関の検討

○川本 英嗣^{1,2}, 伊藤亜紗実^{1,2}, 江口 暁子³, Zay Yar Soe¹, Onmanee Prajuabjinda¹,
Samuel Darkwah¹, 朴 恩正¹, 今井 寛², 島岡 要¹
(¹ 三重大学大学院医学系研究科分子病態学, ² 三重大学大学院医学系研究科救急災害医学, ³ 三重大学大学院医学系研究科消化器内科学)

■ 一般演題 4 血栓症・基礎(15:45~16:45)

座長：林 辰弥(三重県立看護大学看護学部)

野島 順三(山口大学医学系研究科)

O-013 ヘパリンは抗凝固作用非依存的に制御性T細胞を誘導する

○柏倉 裕志, 小嶋 英史, 菅野裕美子, 橋口 昌章, 小端 哲二
(獨協医科大学医学部免疫学講座)

O-014 抗リン脂質抗体症候群におけるプロトロンビン/MHCクラスII分子複合体による抗原提示機構に関する検討

○大西 直樹¹, 藤枝雄一郎¹, 河野 通仁¹, 加藤 将¹, 奥 健志¹,
坊垣 暁之¹, オルガ アメンダール¹, 保田 晋助¹, 荒瀬 尚², 渥美 達也¹
(¹北海道大学大学院医学院・医学研究院免疫・代謝内科学教室, ²大阪大学微生物病研究所免疫化学分野)

O-015 活性化プロテインCの軽鎖C末端領域における抗凝固作用および細胞保護作用に関するエクソサイトの検索

○山下 敦己^{1,3}, Yugi Zhang², Michel F. Sanner², 瀧 正志³, John H. Griffin¹,
Laurent O. Mosnier¹
(¹Department of Molecular Medicine, The Scripps Research Institute, La Jolla, CA, ²Department of Integrative Structural and Computational Biology, The Scripps Research Institute, La Jolla, CA, ³聖マリアンナ医科大学小児科)

O-016 プロトロンビン R593L マウスの作製と解析

○鈴木 伸明¹, 鈴木 敦夫², 鈴木 幸子³, 田村 彰吾³, 高木 明³,
小嶋 哲人³, 松下 正¹
(¹名古屋大学医学部附属病院輸血部, ²名古屋大学医学部附属病院検査部, ³名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学講座)

第7会場(2F 大会議室)

■ 一般演題 5 血小板基礎(14:40~15:40)

座長：加藤 恒(大阪大学血液・腫瘍内科)

松原由美子(慶應義塾大学医学部臨床研究推進センター)

O-017 血小板・巨核球上のC型レクチン様受容体(CLEC-2)が、赤血球造血に及ぼす役割

○大竹 志門¹, 白井 俊光¹, 築地 長治¹, 佐々木知幸², 田村 彰吾³,
尾崎由基男⁴, 井上 克枝^{1,2}
(¹山梨大学大学院総合研究部医学域臨床検査医学, ²山梨大学病院検査部, ³名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学, ⁴医療法人康麗会笛吹中央病院)

O-018 ADAMTS13 クリアランス受容体としてのSIGLEC5の同定と機能解析

P-051 ○秋山 正志, 樋口(江浦)由佳, 小亀 浩市
(国立循環器病研究センター分子病態部)

O-019 von Willebrand 因子と、各種 GPIIb α 変異体の結合構造、結合エネルギーの定量解析

○後藤 信一^{1,2}, 後藤 信哉¹, 綾部 健吾¹, 薮下 寛人¹

(¹ 東海大学医学部内科学系循環器内科学, ² 慶應義塾大学医学部循環器内科)

O-020 トロンビン結合時の血小板膜糖蛋白 GPIIb α 分子の高次構造変化予測

○後藤 信哉¹, 後藤 信一^{2,1}, 綾部 健吾¹

(¹ 東海大学医学部内科学系循環器内科学, ² 慶應義塾大学医学部循環器内科)

■ 一般演題 6 血管 その他基礎(15 : 45~16 : 45)

座長：家子 正裕(北海道医療大学)

武谷 浩之(崇城大学生物生命学部応用生命学科)

O-021 T リンパ球エクソソームによる腸管組織特異的ホーミングの制御

○島岡 要, 朴 恩正

(三重大学大学院医学系研究科・分子病態学)

O-022 血管内皮細胞の硬さ制御における YAP の役割

P-071 ○岡本 貴行¹, 臼田 春樹¹, 田中 徹也¹, 川本 英嗣², 島岡 要², 和田孝一郎¹

(¹ 島根大学医学部薬理学講座, ² 三重大学大学院医学系研究科分子病態学)

O-023 プロテイン S による慢性肝炎、肝線維化の増悪

○戸田 雅昭, ガバザ エステバン

(三重大学大学院医学系研究科)

O-024 シェディング酵素 ADAM ファミリープロテアーゼの成熟化とプロドメインによる活性

P-072 制御の構造基盤

○武田 壮一¹, 秋山 正志², 荒木 聡彦³, 小亀 浩市², James Pearson¹

(¹ 国立循環器病研究センター心臓生理機能部, ² 国立循環器病研究センター分子病態部, ³ 名古屋大学大学院理学研究科生命理学)

6月21日(金)

第1会場(1F 中ホール)

■ 一般演題7 DIC2(14:25~15:25)

座長：早川 峰司(北海道大学病院救急科)

山川 一馬(大阪急性期・総合医療センター)

O-025 健康成人男性に生じた電撃性紫斑病を伴う侵襲性肺炎球菌感染症

○板垣 有紀, 本間 慶憲, 松井 俊尚, 提嶋 久子, 佐藤 朝之
(市立札幌病院救命救急センター)

O-026 各種 DIC 診断基準における敗血症患者の予後予測能の検討

○川野 恭雅, 入江 悠平, 星野 耕大, 中塩舞衣子, 喜多村泰輔, 石倉 宏恭
(福岡大学病院救命救急センター)

O-027 腫瘍崩壊症候群に DIC を合併し、核内タンパクの HMGB-1 や histone H3 が高値を示した急性白血病症例についての検討

○原田 佳代¹, 王 新涛¹, 深津 真彦¹, 高橋 裕志¹, 七島 晶子¹,
木村 哲¹, 大河原 浩¹, 山田 晋吾², 伊藤 隆史³, 池添 隆之¹
(¹福島県立医科大学医学部血液内科学講座, ²株式会社シノテスト R & D センター免疫遺伝子ユニット,
³鹿児島大学医学部救急救命センター・システム血栓制御学講座)

O-028 悪性腫瘍関連脳梗塞患者における D-dimer と生命予後

○河野 浩之¹, 本田 有子¹, 天野 達雄¹, 鳥居 正剛², 岡野 晴子³,
海野 佳子¹, 塩川 芳昭², 平野 照之¹
(¹杏林大学医学部脳卒中医学, ²杏林大学医学部脳神経外科, ³杏林大学医学部神経内科)

第2会場(地下1F 小ホール)

■ 一般演題8 VWF(13:20~14:20)

座長：松本 雅則(奈良県立医科大学輸血部)

小亀 浩市(国立循環器病研究センター分子病態部)

O-029 Severe hemolytic jaundice with thrombocytopenia at birth in Upshaw-Schulman syndrome is caused by physical constriction of ductus arteriosus

○藤村 吉博¹, レムレ ベルンハルト², 田辺さおり³, 高橋 幸博¹, 酒井 和哉⁴,
谷口 繁樹⁴, 松本 雅則⁴
(¹日本赤十字社近畿ブロック血液センター, ²獨逸マインツ大学血栓止血センター, ³日本海総合病院,
⁴奈良県立医科大学)6
月
21
日
(金)

O-030 プロトンポンプ V-ATPase は von Willebrand 因子の細胞内貯蔵オルガネラである

P-052 Weibel-Palade 小体に局在する

○山崎 泰男, 樋口 由佳, 小亀 浩市
(国立循環器病研究センター)

O-031 von Willebrand 病の臨床診断における遺伝子解析の有用性

○内山 由理^{1,2}, 小川 孔幸², 柳澤 邦雄², 水口 剛¹, 内藤 千晶²,
奥野はるな³, 石崎 卓馬², 内海 英貴⁴, 半田 寛², 松本 直通¹
(¹横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学, ²群馬大学大学院医学系研究科内科学講座血液内科学分
野, ³群馬大学大学院医学系研究科小児科学, ⁴医療法人社団日高会白根クリニック)

O-032 本態性血小板血症 (essential thrombocythemia ; ET) における von Willebrand 因子

P-062 (VWF) の動態

○関 義信, 長野 央希
(新潟大学魚沼地域医療教育センター血液内科)

■ 一般演題 9 特発性血栓症(14 : 25~15 : 25)

座長 : 関 義信 (新潟大学医地域医療教育センター)

辻 明宏 (国立循環器病研究センター心臓血管内科)

O-033 先天性アンチトロンビン欠乏症 5 症例における異常アンチトロンビン蛋白の機能解析

○今井 湧太¹, 目黒 牧子², 富樫 朋貴¹, 九笹 加菜¹, 關谷 暁子³,
堀家 慎一², 朝倉 英策⁴, 森下英理子^{3,4}
(¹金沢大学医薬保健学域保健学類検査技術科学科, ²金沢大学学際科学実験センター, ³金沢大学大学
院医薬保健学総合研究科保健学専攻病態検査学講座, ⁴金沢大学附属病院血液内科)

O-034 静脈血栓塞栓症における血栓性素因の頻度に関する検討—単施設での後方視的解析

○内山 俊正¹, 峰岸 正明¹, 和田 英夫², 池尻 誠³
(¹国立病院機構高崎総合医療センター臨床検査科, ²地方独立行政法人三重県立総合医療センター/
三重大学大学院連携講座, ³三重大学付属病院中央検査部)

O-035 高齢者における Protein S 比活性のカットオフ値設定の試み

○阿部 靖之
(国家公務員共済組合連合会熊本中央病院整形外科)

O-036 アンチトロンビン活性の低下がトロンビン生成に与える影響

○熊野 穰¹, 早川 峰司²
(¹シスメックス株式会社第一エンジニアリング本部, ²北海道大学病院先進急性期医療センター)

第3会場(地下1F 第1リハーサル室)

■ 一般演題 10 凝固波形解析(9:00~10:00)

座長：八木 秀男(奈良県総合医療センター血液腫瘍内科)

松本 智子(天理医療大学臨床検査学科)

O-037 APTT 凝固波形重心パラメータを用いた血友病 A の診断および第 VIII 因子定量法の開発

P-068 ○下西 成人¹, 荻原 建一¹, 野上 恵嗣¹, 小田由紀夫², 川辺 俊樹²,

岡崎 伸次², 嶋 緑倫¹

(¹ 奈良県立医科大学小児科, ² 積水メディカル株式会社)

O-038 APTT 凝固波形テンプレートマッチングによる血友病 A 診断アルゴリズムの開発

P-069 ○荻原 建一¹, 下西 成人¹, 野上 恵嗣¹, 小田由紀夫², 川辺 俊樹²,

岡崎 伸次², 嶋 緑倫¹

(¹ 奈良県立医科大学小児科, ² 積水メディカル株式会社)

O-039 ヒルジンによる APTT 凝固波形解析パラメータの濃度依存的変化

P-070 ○藤森 祐多¹, 涌井 昌俊³, 岡 周作², 黒田 裕子², 近藤 佳乃²,

中川 央充², 中村 祥子², 片桐 尚子², 村田 満³

(¹ 慶應義塾大学病院臨床検査技術室, ² 慶應義塾大学病院臨床検査科, ³ 慶應義塾大学医学部臨床検査医学)

O-040 肝胆膵外科高難度手術患者における周術期凝固系変動の検討：APTT 波形解析に着目して

○水野 修吾¹, 新貝 達¹, 白井 正信¹, 和田 英夫², 伊佐地秀司¹

(¹ 三重大学医学部肝胆膵・移植外科, ² 三重大学医学部検査医学)

■ 一般演題 11 抗凝固(10:05~11:05)

座長：保田 知生(公益財団法人がん研有明病院)

山田 典一(桑名市総合医療センター循環器内科)

O-041 抗リン脂質抗体症候群患者に対する第 Xa 因子阻害薬とワルファリンの比較検討

○佐藤 太貴, 中村 浩之, 藤枝雄一郎, 大西 直樹, 麻生 邦之, 蛭川 慶太,

阿部 靖矢, 河野 通仁, 加藤 将, 奥 健志, 坊垣 暁之,

オルガ アメンゲアル, 保田 晋助, 渥美 達也

(北海道大学大学院医学院・医学研究院免疫・代謝内科学教室)

O-042 血管内皮細胞における凝固第 Xa 因子による炎症応答および選択的 Xa 阻害薬の効果に関する検討

○大村 一将¹, 内藤 澄悦², 吉田 美香², 高橋 伸彦¹, 家子 正裕¹

(¹ 北海道医療大学歯学部内科学分野, ² 北海道医療大学病院臨床検査部)

O-043 人工股関節置換術後の静脈血栓塞栓症予防におけるフォンダパリヌクスとエドキサバンの比較

○海野 宏至¹, 友田 良太¹, 森本 政司¹, 竹上 謙次¹, 川喜田英司¹,

吉田 圭佑¹, 長谷川正裕², 須藤 啓広²

(¹ 済生会松阪総合病院整形外科, ² 三重大学大学院整形外科)

O-044 当院における乾燥濃縮人プロトロンビン複合体製剤(ケイセントラ®)の使用状況

○櫻井 聖大^{1,2}

(¹ 国立病院機構熊本医療センター救命救急・集中治療部, ² 熊本大学大学院医学教育部臨床国際協力学分野)

第4会場(地下1F 第2リハーサル室)

■ 一般演題 12 線溶(13:20~14:20)

座長：鈴木 優子(浜松医科大学医学部医生理学講座)

岡田 清孝(近畿大学医学部医学基盤教育部門)

O-045 thrombin-activatable fibrinolysis inhibitor 活性化機構の時空間的解析

○鈴木 優子, 佐野 秀人, Marten Maess, 本藏 直樹, 浦野 哲盟
(浜松医科大学医学部医学科医生理学講座)

O-046 DPP4 inhibitor alogliptin improves stress-induced prothrombotic state in a murine model.

○Kyosuke Takeshita
(Saitama Medical Center, Saitama Medical University)

O-047 トロンボモジュリン添加血漿クロット溶解時間を用いた TAFI の生理的役割の解析

○佐野 秀人, 鈴木 優子, 佐野 佳恵, 本藏 直樹, 浦野 哲盟
(浜松医科大学医学部医生理学講座)

O-048 新生児慢性肺疾患病態への plasminogen activator inhibitor-1 の関与

○辰巳 公平¹, 西久保敏也², 岡田 清孝³, 水口 信行⁴, 奥本 勝美⁴,
藤東 温子¹, 高藤 義正¹, 石田 昌義¹, 河尾 直之¹, 梶 博史¹, 松尾 理¹
(¹ 近畿大学医学部再生機能医学, ² 奈良県立医科大学新生児集中治療室, ³ 近畿大学医学部医学基盤教育部門, ⁴ 近畿大学ライフサイエンス研究所)

第6会場(2F 第2ギャラリー)

■ 一般演題 13 血友病基礎・インヒビター(9:00~10:00)

座長：篠澤 圭子(東京医科大学血液凝固異常症遺伝子研究寄附講座)

矢田 弘史(奈良県立医科大学血友病教育講座)

O-049 カニクイザルを用いた血友病性関節症に対する凝固因子発現間葉系幹細胞の安全性評価

○大森 司¹, 水上 浩明², 片貝 裕子³, 川合 創⁴, 中村 仁康⁴,
井上 誠⁵, 朱 亜峰⁵, 杉本 英治⁴, 坂田 洋一¹
(¹ 自治医科大学医学部生化学講座病態生化学部門, ² 自治医科大学分子病態治療研究センター遺伝子治療研究部, ³ 予防衛生協会研究支援開発部, ⁴ 自治医科大学医学部放射線科, ⁵ ID ファーマ株式会社)

O-050 血漿由来第 X 因子加活性化第 VII 因子製剤の単剤・単回投与で止血が得られた後天性血友病 A の 1 例

○山田 真也, 門平 靖子, 荒幡 昌久, 林 朋恵, 森下英理子, 朝倉 英策,
中尾 眞二
(金沢大学附属病院血液内科)

O-051 J-HIS 研究からみた日本における血友病 A 患者の F8 遺伝子変異の実態とインヒビター発生との関連

○矢田 弘史^{1,2}, 篠澤 圭子³, 小嶋 哲人⁴, 野上 恵嗣¹, 瀧 正志⁵,
福武 勝幸⁶, 嶋 緑倫^{1,2}, J-HIS Study group
(¹ 奈良県立医科大学小児科, ² 奈良県立医科大学血友病教育講座, ³ 東京医科大学臨床検査医学科血液凝固異常症遺伝子研究寄付講座, ⁴ 名古屋大学大学院医療技術学専攻病態解析学講座, ⁵ 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院, ⁶ 東京医科大学臨床検査医学科)

O-052 血友病保因者診断の遺伝子診断システムの構築と検出した遺伝子変異

○篠澤 圭子¹, 天野 景裕^{1,2}, 宮下 竜伊², 備後 真登², 近澤 悠志²,
金子 誠², 萩原 剛², 稲葉 浩², 福武 勝幸^{1,2}
(¹ 東京医科大学血液凝固異常症遺伝子研究寄付講座, ² 東京医科大学臨床検査医学分野)

■ 一般演題 14 凝固異常症 遺伝子解析(10:05~11:05)

座長：稲葉 浩(東京医科大学臨床検査医学分野)

田村 彰吾(名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学講座)

O-053 *int1h-1* を介した組換えではあるが *Inv1* ではなく *F8* イントロン 1 での複雑な大規模欠**P-001** 失挿入変異による重症血友病 A

○所 真昼¹, 田村 彰吾¹, 鈴木 伸明², 垣原美紗樹¹, 服部 有那¹,
大平 晃也¹, 鈴木 幸子¹, 高木 明^{1,5}, 早川 文彦¹, 岡本 修一³, 兼松 毅⁴,
松下 正^{2,4}, 小嶋 哲人¹
(¹ 名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学講座, ² 名古屋大学医学部附属病院輸血部, ³ 名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学, ⁴ 名古屋大学医学部附属病院検査部, ⁵ 修文大学新学部設置準備室)

O-054 *F9* サイレント変異 c.87A > G(p.Thr29 =) に起因するスプライシング異常の分子病態解析

P-002 ○大平 晃也¹, 田村 彰吾¹, 所 真昼¹, 垣原美紗樹¹, 服部 有那¹,
鈴木 幸子¹, 高木 明², 早川 文彦¹, 岡本 修一³, 兼松 毅⁴, 鈴木 伸明⁵,
松下 正^{4,5}, 小嶋 哲人¹
(¹ 名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学講座, ² 修文大学新学部設置準備室, ³ 名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学, ⁴ 名古屋大学医学部附属病院検査部, ⁵ 名古屋大学医学部附属病院輸血部)

O-055 複合ヘテロ接合体性先天性第 X 因子欠乏症患者の遺伝子解析ならびに PPSB-HT による定期補充療法

○富樫 朋貴¹, 長屋 聡美², 長澤 正之³, 目黒 牧子⁴, 今井 湧太¹,
九笹 加菜¹, 關谷 暁子², 堀家 慎一⁴, 朝倉 英策⁵, 森下英理子^{2,5}
(¹ 金沢大学医薬保健学域保健学類検査技術科学専攻, ² 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科病態検査学, ³ 武蔵野赤十字病院小児科, ⁴ 金沢大学学際科学実験センター, ⁵ 金沢大学附属病院血液内科)

O-056 新規伸長型変異を認めた先天性血液凝固第 XI 因子欠乏症の 1 例

P-004 ○早川 友梨¹, 田村 彰吾¹, 鈴木 伸明⁴, 大平 晃也¹, 垣原美紗樹¹, 服部 有那¹, 所 真昼¹, 河島 史華¹, 鈴木 幸子¹, 早川 文彦¹, 高木 明^{1,5}, 岡本 修一², 兼松 毅³, 松下 正^{3,4}, 小嶋 哲人¹
 (¹名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学講座, ²名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学, ³名古屋大学医学部附属病院検査部, ⁴名古屋大学医学部附属病院輸血部, ⁵修文大学新学部設置準備室)

■ 一般演題 15 臨床試験報告(13:30~14:45)

座長：白幡 聡(産業医科大学)

吉岡 章(奈良県立医科大学)

O-057 長期継続試験 ASPIRE 最終結果 - 治療歴のある重症血友病 A 患者に対する rF VIII Fc の最長 4 年間の安全性と継続的な効果を確認

○野上 恵嗣¹, 瀧 正志², Beatrice Nolan³, Johnny Mahlangu⁴, Guy Young⁵, Barbara Konkle⁶, John K Pasi⁷, Johannes Oldenburg⁸, Nikola Tripkovic⁹, Huixing Yuan¹⁰, Dan Rudin¹⁰, Joachim Fruebis¹⁰
 (¹奈良県立医科大学小児科, ²聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科, ³Our Lady's Children's Hospital, ⁴Haemophilia Comprehensive Care Centre, Faculty of Health Sciences, University of Witwatersrand, Charlotte Maxeke Johannesburg Academic Hospital and NHL, ⁵Children's Hospital Los Angeles, ⁶Bloodworks Northwest, ⁷Royal London Haemophilia Centre, Barts and the London School of Medicine and Dentistry, ⁸Institute of Experimental Haematology and Transfusion Medicine, University Clinic Bonn, University of Bonn, ⁹Sobi, ¹⁰Bioverativ, a Sanofi company)

O-058 長期継続試験 B-YOND 最終結果：治療歴のある重症血友病 B 患者に対する rFIXFc の最長 4 年間の安全性と効果

○松下 正¹, Margaret Ragni², Roshni Kulkarni³, John Pasi⁴, Kathelijin Fischer⁵, Johnny Mahlangu⁶, Amy Shapiro⁷, Beatrice Nolan⁸, Johannes Oldenburg⁹, Annemieke Willemze¹⁰, Huixing Yuan¹⁰, Dan Rudin¹⁰, Joachim Fruebis¹⁰
 (¹名古屋大学医学部附属病院輸血部, ²Hemophilia Center of Western Pennsylvania, University of Pittsburgh, ³Michigan State University, ⁴Royal London Haemophilia Centre, Barts and The London School of Medicine and Dentistry, ⁵Van Creveldkliniek, University Medical Center Utrecht, ⁶Haemophilia Comprehensive Care Centre, Faculty of Health Sciences, University of Witwatersrand, Charlotte Maxeke Johannesburg Academic Hospital and NHL, ⁷Indiana Hemophilia & Thrombosis Center, ⁸Our Lady's Children's Hospital, ⁹Institute of Experimental Haematology and Transfusion Medicine, University of Bonn, ¹⁰Sobi & Bioverativ, a Sanofi company)

O-059 血友病 B 患者を対象とする N9-GP と rFIXFc の薬物動態の直接比較

P-017 ○天野 景裕^{1,10}, Carmen Escuriola Ettingshausen², Inga Hegemann³, Mindy Simpson⁴, Adam Cuker⁵, Roshni Kulkarni⁶, Rajiv Pruthi⁷, May-Lill Garly⁸, Rikke Medom Meldgaard⁸, Paula Persson⁸, Robert Klamroth⁹
 (¹東京医科大学医学部医学科臨床検査医学分野, ²Hämophilie Zentrum Rhein Main (HZRM) GmbH, ³Division of Hematology, Zürich University Hospital, ⁴Pediatric Hematology/Oncology, Rush University Medical Center, ⁵Perelman School of Medicine, University of Pennsylvania, ⁶Department of Pediatrics and Human Development, Michigan State University, ⁷Hematology/Internal Medicine, Mayo Clinic, ⁸Novo Nordisk A/S, ⁹Department for Internal Medicine, Vascular Medicine and Haemostaseology, Vivantes Klinikum, ¹⁰東京医科大学血液凝固異常症遺伝子研究寄附講座)

O-060 インヒビター保有血友病 A 小児患者におけるエミシズマブ 1 週, 2 週及び 4 週間隔レジ
P-007 メンでの有効な出血抑制効果: HAVEN2 試験結果

○嶋 緑倫¹, Guy Young², Ri Liesner³, Robert Sidonio Jr⁴, Johannes Oldenburg⁵,
Victor Jimenez-Yuste⁶, Johnny Mahlangu⁷, Rebecca Kruse-Jarres⁸, Michael Wang⁹,
Tiffany Chang¹⁰, Marianne Uguen¹¹, Michelle Doral¹⁰, Christophe Schmitt¹¹,
Gallia Levy¹⁰, Maria Elisa Mancuso¹²

(¹ 奈良県立医科大学小児科, ² Children's Hospital Los Angeles, University of Southern California Keck School of Medicine, Los Angeles, CA, USA, ³ Great Ormond Street Hospital, London, UK, ⁴ Emory University and Children's Healthcare of Atlanta, Atlanta, GA, United States, ⁵ University of Bonn, Bonn, Germany, ⁶ La Paz University, Madrid, Spain, ⁷ University of the Witwatersrand, Johannesburg, South Africa and NHLS, ⁸ Bloodworks Northwest, Seattle, WA, USA, ⁹ University of Colorado, Denver, CO, USA, ¹⁰ Genentech, Inc., South San Francisco, CA, USA, ¹¹ F. Hoffmann-La Roche Ltd, Basel, Switzerland, ¹² Fondazione IRCCS Ca' Granda, Ospedale Maggiore Policlinico, Angelo Bianchi Bonomi Hemophilia and Thrombosis Center, Milan, Italy)

O-061 インヒビター非保有重症血友病 A 小児患者を対象としたエミシズマブ 2 週及び 4 週間隔
P-006 投与の国内第 III 相臨床試験結果 (HOHOEMI 試験)

○瀧 正志¹, 野上 恵嗣⁵, 吉田征太郎², 永見早耶花², 米山洗一郎²,
石黒 精³, 鈴木 隆史⁴, 嶋 緑倫⁵

(¹ 聖マリアンナ医科大学病院小児科, ² 中外製薬株式会社, ³ 国立研究開発法人国立成育医療研究センター教育研修センター, ⁴ 医療法人財団荻窪病院血液凝固科, ⁵ 奈良県立医科大学付属病院小児科)

第 7 会場(2F 大会議室)

■ 一般演題 16 ITP(14:25~15:25)

座長: 羽藤 高明(愛媛大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)

宮崎 浩二(北里大学医学部輸血・細胞移植学)

O-062 Aberrant level of microRNA in CD4+ cells induces Th17/Treg imbalance in primary immune thrombocytopenia

○Mingqiang Hua, Ming Hou, Jun Peng
(Department of Hematology, Qilu Hospital, Shandong University)

O-063 Pathogenic Th17 cells were increased in patients with primary immune thrombocytopenia

○Mingqiang Hua, Ming Hou, Jun Peng
(Department of Hematology, Qilu Hospital, Shandong University)

O-064 Defective Receptor Editing Leads to B Cell Central Intolerance and Autoantibodies Accumulation in ITP

○Zi Sheng, Yan Gao, Song Li, Ming Hou, Jun Peng
(Qilu Hospital, Shandong University)

O-065 Hepatic thrombopoietin gene silencing reduces cancer progression in the mammary
P-056 glands of mice

○ Toshiaki Shirai^{1,2}, Alexey Revenko³, Justin Tibbits⁴, Lisa M Coussens⁴,
Owen JT McCarty¹, Brett P Monia³, Andras Gruber^{1,5}

(¹ Department of Biomedical Engineering, School of Medicine, Oregon Health & Science University, Portland, OR, ² Clinical and Laboratory Medicine, School of Medicine, University of Yamanashi, ³ Ionis Pharmaceuticals, Inc., Carlsbad, CA, ⁴ Department of Cell, Developmental & Cancer Biology, School of Medicine, and Knight Cancer Institute, Oregon Health & Science University, Portland, OR, ⁵ Aronora, Inc, Portlnd, OR)

6月22日(土)

第2会場(地下1F 小ホール)

■ 一般演題 17 血小板臨床(14:10~15:10)

座長：金子 誠(東京医科大学臨床検査医学分野)
山之内 純(愛媛大学)

O-066 予防接種後の止血不良を契機に乳児期に診断された血小板無力症の女児例

○清水 恭代¹, 内山 由理^{2,3}, 小川 孔幸³, 國島 伸治⁴, 林谷 俊和¹,
小川 詩季¹, 松川 幸弘¹, 中辻 恵理¹, 高島 光平¹, 梅原 弘¹, 小豆澤敬幸⁵,
安齋 祐子¹, 山本 正仁⁵, 半田 寛³, 松本 直通², 成宮 正朗¹
(¹長浜赤十字病院小児科, ²横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学, ³群馬大学大学院医学系研究科内科学講座血液内科学分野, ⁴岐阜医療科学大学保健科学部臨床検査学科, ⁵長浜赤十字病院新生児科)

O-067 Inhibitor boosting により長期入院を要した難治性の血栓性血小板減少性紫斑病症例

○石川 哲也¹, 小川 孔幸¹, 内藤 千晶¹, 松本 彬¹, 宮澤 悠里¹,
石崎 卓馬¹, 柳澤 邦雄¹, 松村 郁子², 外山耕太郎², 松本 雅則³, 半田 寛¹
(¹群馬大学大学院医学系研究科内科学講座血液内科学分野, ²公立藤岡総合病院血液内科, ³奈良県立医科大学附属病院輸血部)

O-068 血栓性血小板減少性紫斑病を契機に診断された全身性エリテマトーデスの小児例

○平形 絢子¹, 小林 靖子¹, 池内 由果¹, 小笠原 聡¹, 武井麻里子¹,
小川 孔幸², 半田 寛², 松本 雅則³, 荒川 浩一¹
(¹群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野, ²群馬大学大学院医学系研究科内科学講座血液内科学分野, ³奈良県立医科大学輸血部)

O-069 親子間で病型の異なるフォン・ヴィレブランド病の一家系

○中島 篤人^{1,2}, 山口 宗一^{1,2}, 吉村 明子³, 古城 剛^{1,2}, 小濱 祐行^{1,2},
竹之内和則¹, 大山 陽子¹, 政元いずみ², 高嶋 博³, 橋口 照人^{1,2}
(¹鹿児島大学大学院医歯学総合研究科血管代謝病態解析学分野, ²鹿児島大学病院検査部, ³鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経病学講座神経内科・老年病学)

■ 一般演題 18 血小板検査(15:15~16:15)

座長：柏木 浩和(大阪大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学)
横山 健次(東海大学医学部附属八王子病院血液腫瘍内科)

O-070 Elevated plasma levels of sCLEC2 in patients with thrombotic microangiopathy

○山下 芳樹¹, 鈴木 圭², 松本 剛史³, 池尻 誠⁴, 大石 晃嗣³,
片山 直之^{1,5}, 和田 英夫⁶
(¹三重大学病院血液腫瘍内科, ²三重大学病院救命救急センター, ³三重大学病院輸血部, ⁴三重大学病院中央検査部, ⁵三重大学医学系研究科血液腫瘍内科, ⁶地方独立行政法人三重県立総合医療センター/三重大学大学院連携講座)

6月22日(土)

O-071 凝固マーカーを含むルーチン血液検査による TMA と DIC の比較

P-061 ○酒井 和哉¹, 中塚 優希¹, 吉田 瑤子¹, 早川 正樹¹, 和田 英夫², 松本 雅則¹
(¹ 奈良県立医科大学輸血部, ² 地方独立行政法人三重県立総合医療センター/三重大学大学院連携講座)

O-072 敗血症性 DIC と血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP) の鑑別診断における FDP/D-dimer 比および LDH/Hb 比の有用性

○矢田 憲孝¹, 川島 浩正¹, 垣脇 文香¹, 佐和 明裕¹, 千崎 聡士¹,
西村 伸城¹, 米今 諒¹, 田井 義彬¹, 對馬恵美子¹, 大野 史郎¹, 吉本 清巳¹,
酒井 和哉², 福島 英賢³, 松本 雅則², 西尾 健治¹
(¹ 奈良県立医科大学総合医療学, ² 奈良県立医科大学輸血部, ³ 奈良県立医科大学救急医学)

O-073 フローサイトメトリーを用いたヒト血小板のリゾホスファチジルセリン受容体 mRNA 発現量解析の基礎検討

○西川 真子¹, 蔵野 信¹, 名倉 豊², 岡崎 仁², 青木 淳賢³, 矢富 裕¹
(¹ 東京大学医学部附属病院検査部, ² 東京大学医学部附属病院輸血部, ³ 東北大学大学院薬学研究科分子細胞生化学分野)

第 3 会場(地下 1F 第 1 リハーサル室)

■ 一般演題 19 血管 基礎・検査(14:10~15:10)

座長：橋口 照人(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科血管代謝病態解析学)
山崎 昌子(東京女子医科大学脳神経内科)

O-074 本邦における脳静脈洞血栓症の特徴

○新堂 晃大¹, 和田 英夫², 池尻 誠³, 松本 剛史⁴, 冨本 秀和¹
(¹ 三重大学医学部附属病院脳神経内科, ² 地方独立行政法人三重県立総合医療センター/三重大学大学院連携講座, ³ 三重大学医学部附属病院中央検査部, ⁴ 三重大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)

O-075 脳梗塞に伴う活性酸素産生が神経変性およびその機能に及ぼす影響の検討

○俣野 泰毅¹, 河津 陸¹, 高山久美子¹, 大井 涼輔¹, 鈴木 康裕²,
梅村 和夫³, 永井 信夫¹
(¹ 長浜バイオ大学バイオサイエンス研究科動物生理学研究室, ² 奥羽大学薬学部, ³ 浜松医科大学医学部薬理学教室)

O-076 生理活性物質 SMTP-7 による $\beta 2$ アドレナリン受容体-IL-6 シグナル増強を介した血管炎症制御機構の解明

○鈴木絵里子¹, 田島真梨絵², 中野 真衣², 廣壽 響², 木下 春奈³, 蓮見 恵司¹
(¹ 東京農工大学大学院農学研究院応用生命化学部門, ² 東京農工大学大学院農学府応用生命化学専攻, ³ 東京農工大学応用生物科学科)

O-077 全エクソーム解析により診断に結び付いた遺伝性出血性末梢血管拡張症の 1 家系

○中山 敬太^{1,2}, 小川 孔幸¹, 内山 由理^{1,3}, 合田 史⁴, 柳澤 邦雄¹,
内藤 千晶¹, 松本 直通³, 半田 寛¹
(¹ 群馬大学大学院医学系研究科内科学講座血液内科分野, ² 公立藤岡総合病院血液内科, ³ 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学, ⁴ 高崎総合医療センター総合診療科)

■ 一般演題 20 血管 臨床(15:15~16:15)

座長：竹下 享典(埼玉医科大学総合医療センター)

伊藤 隆史(鹿児島大学病院救命救急センター)

O-078 経カテーテル大動脈弁置換術施行した心房細動患者のバルーン拡張型人工弁と自己拡張型人工弁における凝固マーカーの経時的变化の違い

○片山 大河¹, 村木 亜紀¹, 中谷 浩章², 細越 巨禎², 渡邊 雄介¹,
横山 直之¹, 川杉 和夫¹, 上妻 謙¹
(¹帝京大学, ²岩槻南病院)

O-079 急性血液浄化療法におけるヘモフィルター内凝固と Fibrin Monomer Complex(FMC)濃度の関連性の検討

○金城紀代彦¹, 佐久田 豊², 長間 将樹²
(¹沖縄協同病院血液浄化療法科, ²沖縄協同病院集中治療室)

O-080 軟部腫瘍における血中 soluble Thrombomodulin の臨床的意義

○浅沼 邦洋, 中村 知樹, 萩 智仁, 喜多 晃司, 須藤 啓広
(三重大学医学部整形外科)

O-081 キヌレンン代謝酵素インドールアミン 2,3 ジオキシゲナーゼ 1 は冠動脈硬化巣のマクロファージに発現しその凝固活性の亢進に関与する

○山下 篤¹, 渡邊 裕貴², 前川 和也¹, 北村 和雄², 浅田祐士郎¹
(¹宮崎大学医学部病理学講座, ²宮崎大学医学部内科学講座)

第5会場(1F レセプションルーム)

■ 一般演題 21 XⅢ因子(14:10~15:10)

座長：惣宇利正善(山形大学大学院医学系研究科)

小川 孔幸(群馬大学医学部附属病院血液内科)

O-082 第XⅢ因子低下による出血傾向を来した体外式膜型人工肺(ECMO)管理下の2症例

○伊藤亜紗実, 鈴木 圭, 池尻 薫, 岩下 義明, 今井 寛
(三重大学医学部附属病院救命救急センター)

O-083 難治性自己免疫性第XⅢ/13因子欠乏症の一例

○野崎 華加¹, 北原 茉莉², 植木 俊充², 中澤 英之³, 惣宇利正善⁴,
尾崎 司⁴, 一瀬 白帝⁴, 小林 光²

(¹長野赤十字病院臨床研修センター, ²長野赤十字病院臨床研修センター血液内科, ³信州大学医学部附属病院血液内科, ⁴山形大学医学部分子病態学講座厚労科研「自己免疫性凝固因子欠乏症診療の均てん化(略称)」研究班)

O-084 凝固第XⅢ因子の非酵素サブユニット認識抗体によるフィブリン架橋阻害

○惣宇利正善¹, 横山智哉子², 尾崎 司¹, 和田 秀穂³, 一瀬 白帝⁴

(¹山形大学大学院医学系研究科公衆衛生学・衛生学, ²山形大学大学院理工学研究科バイオ化学工学, ³川崎医科大学血液内科, ⁴山形県立米沢栄養大学)

O-085 治療抵抗性の自己免疫性第 13 因子欠乏症の 1 症例

○島崎 裕正¹, 三宅 隆明¹, 伊藤 俊輔¹, 井上 政弥^{1,2}, 高橋 勉¹,
鈴木 律朗¹, 尾崎 司⁴, 惣宇利正善⁴, 一瀬 白帝³, 鈴宮 淳司¹

(¹ 島根大学医学部附属病院先端がん治療センター腫瘍・血液内科, ² 島根大学医学部附属病院輸血部, ³ 山形大学医学部厚労科研「均てん化(略称)」研究班, ⁴ 山形大学医学部公衆衛生学・衛生学, 厚労科研「均てん化(略称)」研究班)

■ 一般演題 22 産科疾患(15:15~16:15)

座長：岩城 孝行(浜松医科大学薬理学講座)

杉村 基(浜松医科大学医学部医学科産婦人科家庭医療学講座)

O-086 Retrospective study of pregnancies with Thr331Ala fibrinogen polymorphism

○奥村 亜純¹, 田中 博明², 田中 佳世², 桂木 真司¹, 池田 智明²

(¹ 榊原記念病院産婦人科三重大学医学部附属病院産科婦人科学教室, ² 三重大学医学部附属病院産科婦人科学教室)

O-087 日本人若年女性における血液凝固制御因子プロテイン S, プロテイン C 遺伝子多型と血中活性・抗原量の検討

○能口 健太^{1,2,3}, 中園 栄里⁴, 佐田志穂子¹, 宮 真南^{2,3}, 津田 友秀⁵,
金 秀日⁵, 中野 修治^{1,2,3}, 津田 博子^{1,2,3}

(¹ 中村学園大学大学院栄養科学研究科, ² 中村学園大学栄養科学部, ³ 中村学園大学健康増進センター, ⁴ 福岡医療短期大学, ⁵ 株式会社シノテスト)

O-088 産科 DIC スコアと輸血療法の関連

○二井 理文, 田中 博明, 真川 祥一, 古橋 芙美, 真木晋太郎, 田中 佳世,
鳥谷部邦明, 池田 智明

(三重大学産婦人科)

O-089 妊娠分娩管理における血友病保因者遺伝子診断の有用性

○山之内 純¹, 池田 祐一¹, 羽藤 高明²

(¹ 愛媛大学血液・免疫・感染症内科学, ² 愛媛大学輸血・細胞治療部)

第 6 会場(2F 第 2 ギャラリー)**■ 一般演題 23 血友病臨床(14:10~15:10)**

座長：長尾 梓(荻窪病院血液凝固科)

小倉 妙美(静岡県立こども病院血液凝固科)

O-090 当院での血友病 A 小児例における定期補充療法の現状

○天野敬史郎¹, 豊田 秀実¹, 松本 剛史⁴, 和田 英夫², 片山 直之³, 平山 雅浩¹

(¹ 三重大学大学院医学系研究科小児科学, ² 地方独立行政法人三重県立総合医療センター/三重大学大学院連携講座, ³ 三重大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学, ⁴ 三重大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)

O-091 定期補充療法による血友病患者の出血予防には90%以上のアドヒアランスが必要

○長江 千愛^{1,2}, 松本 剛史^{2,3}, 野島 正寛^{2,4}, 後藤 美和^{2,5}, 牧野健一郎^{2,6},
伊賀 陽子^{2,7}, 大平 勝美^{2,8}, 小島 賢一^{2,9}, 宮崎菜穂子^{2,10}, 森戸 克則^{2,11},
和田 育子^{2,12}, 瀧 正志^{2,13}, 竹谷 英之^{2,14}

(¹聖マリアンナ医科大学小児科, ²血液凝固異常症 QOL 調査委員会, ³三重大学医学部附属病院輸血・細胞治療部, ⁴東京大学医科学研究所 TR・治験センター, ⁵東京大学医学部附属病院リハビリテーション部, ⁶はまゆう会新王子病院リハビリテーション科, ⁷兵庫医科大学病院精神科神経科, ⁸社会福祉法人はばたき福祉事業団, ⁹荻窪病院血液凝固科, ¹⁰国立感染症研究所, ¹¹むさしの会, ¹²荻窪病院看護部, ¹³聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科, ¹⁴東京大学医科学研究所附属病院関節外科)

O-092 血友病患者の QOL に与える HIV 感染症の影響 血液凝固異常症の QOL 調査を用いた横断研究

○竹谷 英之^{1,2}, 伊賀 陽子², 大平 勝美², 小島 賢一², 後藤 美和²,
長江 千愛², 野島 正寛², 松本 剛史², 牧野健一郎², 宮崎菜穂子², 森戸 克則²,
和田 育子², 瀧 正志²

(¹東京大学医科学研究所附属病院関節外科, ²血液凝固異常症 QOL 調査委員会)

O-093 主要血友病治療施設での血友病診療内容の実態

○竹谷 英之¹, 田中 康仁², 山本 謙吾³, 芳賀 信彦⁴, 滝川 一晴⁵,
島田 幸造⁶, 天野 景裕⁹, 上野 竜一¹⁰, 嶋 緑倫⁸, 牧野健一郎⁷, 稲垣 有佐²,
石黒 直樹¹¹

(¹東京大学医科学研究所附属病院関節外科, ²奈良県立医科大学整形外科, ³東京医科大学病院整形外科, ⁴東京大学医学部附属病院リハビリテーション部, ⁵静岡県立こども病院整形外科, ⁶JCHO 大阪病院整形外科, ⁷新王子病院リハビリセンター, ⁸奈良県立医科大学小児科, ⁹東京医科大学病院臨床検査医学科, ¹⁰東京医科大学リハビリセンター, ¹¹名古屋大学医学部整形外科)

■ 一般演題 24 血友病検査・その他(15:15~16:15)

座長：鈴木 敦夫(名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門)

藤井 輝久(広島大学病院輸血部)

O-094 第 VIII 因子製剤の活性測定に与えるリン脂質の影響

○藤森 祐多¹, 窓岩 清治^{2,4}, 篠原 翔³, 熊野 穰³, 新井 信夫³,
猪狩 敦子⁴, 涌井 昌俊⁴, 村田 満⁴

(¹慶應義塾大学病院臨床検査技術室, ²東京都済生会中央病院臨床検査医学科, ³シスメックス株式会社, ⁴慶應義塾大学医学部臨床検査医学)

O-095 当院における血友病確定保因者の凝固第 VIII・IX 因子活性の検討

○金田 眞, 岡 敏明

(札幌徳洲会病院小児科・血友病センター)

O-096 凝固波形解析重心法パラメータを用いた APTT クロスミキシング試験の迅速定量化

○下西 成人¹, 荻原 建一¹, 野上 恵嗣¹, 小田由紀夫², 川辺 俊樹²,
岡崎 伸次², 嶋 緑倫¹

(¹奈良県立医科大学小児科, ²積水メディカル株式会社)

O-097 血友病患者における推奨身体活動量に影響を与える要因 血液凝固異常症の QOL 調査を用いた横断研究

○後藤 美和¹, 牧野健一郎², 野島 正寛³, 伊賀 陽子⁴, 大平 勝美⁵,
小島 賢一⁶, 長江 千愛⁷, 松本 剛史⁸, 宮崎菜穂子⁹, 森戸 克則¹⁰,
和田 育子¹¹, 瀧 正志¹², 竹谷 英之¹³

(¹ 東京大学医学部附属病院リハビリテーション部, ² はまゆう会新王子病院リハビリテーション科, ³ 東京大学医科学研究所 TR・治験センター, ⁴ 兵庫医科大学病院精神科神経科, ⁵ 社会福祉法人はばたき福祉事業団, ⁶ 荻窪病院血液凝固科, ⁷ 聖マリアンナ医科大学小児科, ⁸ 三重大学医学部附属病院輸血・細胞治療部, ⁹ 国立感染症研究所, ¹⁰ むさしの会, ¹¹ 荻窪病院看護部, ¹² 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科, ¹³ 東京大学医科学研究所附属病院関節外科)

第7会場(2F 大会議室)

■ 一般演題 25 凝固・抗凝固(14:10~15:10)

座長：保田 晋助(北海道大学大学院医学研究院免疫・代謝内科学教室)

上塚 芳郎(東京女子医科大学附属成人医学センター)

O-098 リバーロキサバンを用いた VTE 治療の実臨床下での安全性と有効性：特定使用成績調査 XASSENT 中間報告

○川杉 和夫¹, 福田 幾夫², 平山 篤志³, 小林 隆夫⁴, 中西 宣文⁵,
前田 英明⁶, 中村 真潮⁷, 山田 典一⁸, 坪田 匡史⁹, 武市真希子⁹, 木谷 曜子⁹,
岡山 豊⁹, 砂谷 敏行¹⁰, 坂口 敏晃⁹, 山中 聡⁹

(¹ 帝京大学医療技術学部, ² 弘前大学大学院医学研究科胸部心臓血管外科学講座, ³ 日本大学医学部内科学系循環器内科学分野, ⁴ 浜松医療センター, ⁵ 大阪なんばクリニック循環器内科, ⁶ 日本大学医学部血管外科, ⁷ 陽だまりの丘なかむら内科, ⁸ 桑名市総合医療センター循環器内科, ⁹ バイエル薬品株式会社メディカルアフェアーズ本部, ¹⁰ バイエル薬品株式会社開発本部)

O-099 Single drug approach with edoxaban is effective and safe for acute VTE patients

○辻 明宏, 服部 雄介, 石井 俊輔, 平川今日子, 上田 仁, 福井 重文,
大郷 剛, 安田 聡
(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

O-100 静脈血栓塞栓症患者に対するエドキサバン低用量での治療経験

○山本 尚人¹, 佐野 真規²
(¹ 浜松医療センター血管外科, ² 浜松医科大学第二外科・血管外科)

O-101 臨床的免疫異常と凝固線溶検査偽高値を合併した C4 低下を伴うループスアンチコアグラント陽性症例

○内場 光浩
(熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)

■ 一般演題 26 V因子 その他(15:15~16:15)

座長：内場 光浩(熊本大学病院輸血・細胞治療部)

宍岩 清治(東京都済生会中央病院臨床検査医学科)

O-102 維持透析導入後早期に発症した後天性凝固第V因子インヒビター症例

○松本 彬¹, 小川 孔幸^{1,2}, 柳澤 邦雄¹, 内藤 千晶¹, 石川 哲也¹,
宮澤 悠里¹, 石崎 卓馬¹, 井上まどか³, 泉 絢子³, 北沢 早希³, 早川 昌基³,
物宇利正善^{2,4}, 一瀬 白帝^{2,4}, 半田 寛¹
(¹群馬大学大学院医学系研究科内科学講座血液内科学分野, ²厚労科研「自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成」研究班, ³群馬大学医学部附属病院検査部, ⁴山形大学医学部分子病態学)

O-103 高齢者における D-dimer と SFMC の動態

○川杉 和夫¹, 山本 義²
(¹帝京大学医療技術学部臨床検査学科, ²帝京大学医学部内科)

O-104 アピキサバン内服中に四肢皮下出血で発症した後天性第V因子インヒビター

○栩野 祐一^{1,2}, 堀 善和^{1,2}, 宮本 芳行³, 宮本 正興³, 小山明日美⁴,
塩谷千恵子⁴, 平康 雄大⁵, 箕浦 直人⁵, 蒸野 寿紀^{1,2}, 田村 志宣^{1,2},
中野 好夫², 園木 孝志¹
(¹和歌山県立医科大学血液内科, ²紀南病院内科, ³紀南病院循環器科, ⁴紀南病院中央臨床検査部, ⁵和歌山県立医科大学附属病院中央検査部)

O-105 遺伝子組み換え活性型第VII因子製剤を用いて人工股関節置換術の周術期止血管理を行った先天性第VII因子欠乏症の1例

○原田 侑子¹, 宮下 竜伊², 近澤 悠志², 上久保淑子², 一木 昭人²,
備後 真登², 関谷 綾子², 横田 和久², 四本美保子², 金子 誠², 萩原 剛²,
天野 景裕^{2,3}, 福武 勝幸^{2,3}
(¹東京医科大学病院卒後臨床研修センター, ²東京医科大学臨床検査医学分野, ³東京医科大学血液凝固異常症遺伝子研究寄附講座)